

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	看護学分野
学籍番号		院生氏名	片山典子
通学キャンパス			
論文題目	青年期統合失調症者の臨界期における訪問ケアリストの開発		
審査結果(枠で囲む)	合格		
<p><審査結果の要旨></p> <p>本研究の目的は、臨界期の青年期統合失調症者の訪問ケアをしている看護職を対象に実践しているケア内容を明らかにし、「青年期統合失調症者の臨界期における訪問看護ケアリスト」を作成することであった。著者は適切な倫理的配慮に基づき、妥当性の検証を行ったうえで、ケアリストの開発を行った。ケアリストの作成は、臨界期の青年期統合失調症者(以下、利用者)の訪問ケアを行っている看護師9名にケア実践についての面接調査を行い、そのデータをもとに8領域、34中項目、221小項目のケアリストを作成した。</p> <p>次に作成したケアリストは、デルファイ法による質問し調査を実施し、集計結果を有識者で検討する手続きを2回繰り返して整理した結果、最終的に8ケア領域、34中項目、208小項目のケアリストの開発に至った。臨界期にある統合失調症者の訪問ケアは、現状では一部の訪問看護師による実践に限られている。そのため、今後は開発したケアリストの実践的検証を行い、利用者のニーズに適合させるために精選することが課題であることが示唆された。</p> <p>本研究の新規性は、青年期統合失調症者の臨界期におけるケアの実態が明らかになるとともに、訪問看護ケアリストが開発されたことにあり、地域看護の発展に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>また、2回の口頭試問において適切に応答した。</p> <p>以上の結果から、審査会の審査委員全員は本論文が著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p>主 査 亀口 憲治</p> <p>副 査 藤田 郁代</p> <p>副 査 藤本 幹</p>		